

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年 2 月 28 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 170-0004

所在地 東京都豊島区北大塚2-24-5 ステーションフロントタワー2F

評価機関名 株式会社 地域計画連合

認証評価機関番号 機構 02 - 002
電話番号 03-5974-2021
代表者氏名 江田 隆三

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	大森東一丁目保育園			
事業所連絡先	〒	143-0012		
	所在地	東京都大田区大森東1丁目31番2号 105号室		
	TEL	03-3763-9670		
事業所代表者氏名	鎌田 伸江			
契約日	2024 年 4 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 6 月 20 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 10 月 17 日			
自己評価の調査票配付日	2024 年 6 月 20 日			
自己評価結果報告日	2024 年 10 月 17 日			
訪問調査日	2024 年 10 月 24 日			
評価合議日	2024 年 10 月 24 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・事前説明にあたっては、令和6年度方式の評点基準、確認根拠資料の準備について、わかりやすい独自資料を用意し、事業者の負担を軽減する工夫を行っている。 ・分析シートは記入のポイントを用意し、効果的、効率的に情報が整理できるよう工夫を行っている。 ・確認根拠資料は、訪問調査の概ね3週間前までに評価機関への提出を依頼し、根拠の事前確認を行ったうえで訪問調査を実施し、訪問当日は事業所の課題や良い点を把握するためのヒアリングに重点を置いて実施している。 ・合議は、訪問調査終了後、同じ日のうちに、速やかに実施している。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- ☒ 機構が定める部分を公表することに同意します。
☐ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
☐ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2025 年 2 月 26 日

事業者代表者氏名 鎌田 伸江 印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 1) こどもの人権を尊重し最善の利益を考慮した保育を行う 2) こどもの年齢や一人一人の発達、特徴、健康状態を十分理解しそれに応じた保育をする 3) 安全な環境のもと、健康でこころよい生活ができるようにする 4) 家庭や地域社会との連携を図り、家庭療育の保管を行う 5) 地域の子育て支援の核となり、地域の子育て力を高めていく
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 こどもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に増進し、こどもの健全な心身の発達を図るため、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に養護及び教育を一体的に行う。 また、地域の子育て支援のために、乳幼児の保育に関する相談対応や援助等の社会的役割を果たすほか、地域の保育施設との交流を積極的に取り組むなど区立保育園の職員としての責務を負うことに自覚を持つ。 これまでの取り組みにより培われた保育技術をさらに向上させるとともに、職員間の密な連携をはかり、課題に取り組む。 （2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に関わる者としての自覚を常に持つ。 公立保育園の保育士として大田の子ども達に楽しい毎日を過ごせる様日々の保育をこどもの成長に合わせた楽しい毎日を紡ぎ、心身共に健全な成長発達を促す保育力をつける。 また、地域の子育て支援のために、乳幼児の保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。そのことが地域の子育て力を高め、地域の子育て力を高め「こどもがのびやかに育つ町づくり」につながっていることを念頭におき力を尽くす。

調査対象

2024年6月20日現在の施設の利用者(保護者) 105世帯(利用者総数 120名)を対象とした。

調査方法

WEBアンケート。施設にて担任が保護者に手渡しする形で案内状を配付。保護者任意のデバイスにてアンケートに回答。

利用者総数	120
利用者家族総数(世帯)	105
共通評価項目による調査対象者数	105
共通評価項目による調査の有効回答者数	62
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	59.0

利用者調査全体のコメント

総合満足度(大変満足、満足を合計した割合)は、(97%、60人)となっている。

●各設問のうち、「はい」の比率が高かった上位は、以下の項目であった。

問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか

問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

問13. あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか(各々 100%、62人)

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	62	0	0	0
子供の成長や本人の要望など、様々なことに対応していただいていると思います。いつもありがとうございます。 自宅ではできない遊びや経験、学びを保育園で教えてもらってそれが生活の中でも役に立っています。 園庭での遊びが活発です。雨上がりの日にはこども達の発見にあわせて泥遊びも楽しんでいて、なかなか家ではやらせてあげられないので、良い経験になっているなど感じます。 などの意見があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	62	0	0	0
保育園で覚えてきた歌や手遊びなど家でも見せてくれます。その他にも園での活動をよく話してくれます。 室内と室外の遊びのバランスがよく、恵まれた環境だと認識しています。 先生が提供するというよりは、こども達の発見や興味のあるものを受け止め、危険の無い範囲で遊ばせ見守ってくれていると感じます。 などの意見があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	59	2	1	0
手づかみ食べる時期ですが家ではなかなかできないものの保育園で積極的に成長段階をふみ経験をさせてくれます。 自分では作れないような料理も提供してもらえてよい。 家では食べないような物も「全部たべたよ美味しかった」と知らせてくれるので、美味しいようです。行事の日にはアイスやジュースの提供もありお友達と食べるとさぞ美味しく、嬉しいだろうなと思います。素敵な経験をありがとうございます。 などの意見があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	59	2	1	0
外の公園行ったり、図書館に行ったり、いろいろな体験をさせていただいていると思います。 毎回、近所の図書館のおはなし会に行くのを楽しみにしています。 最近の異常気象のせいで戸外に出られない日が多いものの、その中でも子供達を楽しめるよう工夫したり、出られる日は積極的に外にお散歩に行っているの自然と関わる機会が多いと思います。 などの意見があった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	12	1	0
いつも働く両親の味方になってくれて大変ありがたいです。 急な仕事のトラブルなどで、連絡がお迎え時間ギリギリの時間になっても嫌な顔せず対応して下さり、とても助かっています。 一番急な時で当日の朝延長を申し入れて受け入れてくださいます。乳児はとくに受け入れ数に制限があるようですが、むしろ安心です。夕方は職員の方も手薄になると思いますので、安全面で配慮頂いているのだと思います。 などの意見があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	57	5	0	0
怪我もちろんすることはありますが、安全対策その後のケアもきちんとしてくださっている印象です。 避難訓練の種類の多さに驚いている。子ども達の防災意識が高い。 色々と工夫されていて感心します。 などの意見があった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	50	11	1	0
可能な限り遅い時間でご対応いただいていると思います。 予め早めに連絡してもらえるので、仕事の調整が出来ます。 乳児の保護者参加の行事はあまりないので、不満に感じたことはないです。土曜の保護者会では会中に子どもを保育してくれるので、落ち着いて話を聞くことができ大変助かっております。 などの意見があった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	57	4	1	0
気になることはフラットに話してきていると思います。 相談事を実際したら、親身に聞いてくれて 大変安心した。 面談は年一回ですが送迎時に声をかけると話をしてくれます。 などの意見があった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	60	1	1	0
保育士の方だけでなく、用務員さんなどもとても優しく仕事も丁寧で園を掃除してくださってます。 掃除が行き届いていると思います。 非常勤やパートさんの方など、お掃除をしてくれている姿をよくお見かけします。玩具が部屋中に散らばっているところも見たことがありません。 などの意見があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	55	5	2	0
すごく気遣っていただいているし、とても丁寧に感じます。 特に気にならないです。 などの意見があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	60	2	0	0
少しぶつけただけでも、細かに連絡してくれる。 すぐに電話がきて病院へ受診する旨をおしえてくれたり、ケガの処置をしてくれたりと対応して下さいます。 親身になって対応してくれます。子供の病気に詳しくないので、アドバイスも有難いです。 などの意見があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	51	10	1	0
まだこの経験がないので、不安はありません。 こちらの子どもが悪かった場合も、相手方が悪くてもきちんと喧嘩がなぜ起こってどういう対応してくれたか教えてくれるので子供にも親から話しやすいです。 まだトラブルが起こったことがないのですが、トラブルが起こったとしても先生方の対応は大丈夫だろうなという信頼があります。 などの意見があった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	62	0	0	0
どの先生も個性を大事に対応して下さいます。 子供の気持ちに寄り添ってくれていると感じます。 何に関しても無理強いはなく、対応を工夫されていると思います。 などの意見があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	57	5	0	0
特に嫌だと思ったことはないです。 といった意見があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	60	1	0	1
保護者説明会でいつも分かりやすい資料を配布していただいています。ありがとうございます。 個別で説明してもらえるのでわかりやすいです。 お迎えの際に担任の先生から特にお話はありますが、玄関に張り出してあります。保護者会の時にはパワーポイントを使用して詳しく説明して下さいます。 などの意見があった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	56	6	0	0
こちらが誤解したり分かっていないこともあるので、話すですっきりして納得できます。 特に伝えたこと、思ったことはありませんが、園長先生は常に誠実に対応して下さる印象なので、何か会った時には相談しようと思えます。 などの意見があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	43	14	4	1
困って相談したことがまだありません。 といった意見があった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当
	カテゴリー1の講評		
	保育園マニュアルは職員全員に配付し保育理念や園が目指している事の理解を深めている 保育理念や保育目標は玄関壁面の額に入れて誰でも分かるように掲示し、また重要事項説明書も掲示している。職員全員(非常勤職員含む)に大森東一丁目保育園マニュアルを配付し保育理念や保育方針から重要な事が個人でいつでも確認できるようにしており、年度初めの職員会議では保育理念や保育目標を確認している。また、保育サービス課の今年度目標を受けて、園の目標をリーダー層で話し合い設定して全職員に周知している。この内容は一般職員面談シートに記載され、各個人が計画作成する仕組みがあり、必ず確認する事で理解を深めている。 園長は園目標達成に向けてプロジェクトチーム活動を機能させる事で園運営を進めている 園長は園で発生する課題の特定や解決に向けて職員全員参加のプロジェクトチーム(PT)活動を機能させている。昨年は6つのPTがあったが、反省や振り返り、職員数の減少を踏まえ、今年度は福祉避難所・応急保育所、公開保育、子育て地域支援、環境の4つのPTの体制で、リーダー中心に園目標達成に向け計画的に進めることで園運営をリードしている。また園長や主任は、できる限り各クラスの打ち合わせに参加し、決定が必要な時には速やかに判断し、クラスの保育士からも事前に決めたいことがある場合は園長に必ず参加してほしい旨を伝えている。 重要事項の決定はリーダー会で合議して意思決定し職員会議や朝礼で職員へ周知している 重要事項の決定は時間軸で手順を変え、時間をかけて検討する場合はリーダー会から各クラスの保育者に意見を確認し、その意見をもとに次のリーダー会で討議を行い、最終的に園長が決定している。すぐに決定すべき事項は臨時リーダー会で討議・検討し、迅速な対応が必要な場合は園長と主任で決定している。職員への周知は全員参加(非常勤も含む)の職員会議内リーダー会報告で周知し、遅番などで参加できない職員には議事録の確認で周知している。また急ぎの場合は、園長や主任が紙面に纏めて朝礼で伝達し、4パート分のコピーを配布して周知している。		

2			カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行				
サブカテゴリー1(2-1)				
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している			評点(○○○○○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している			○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している			○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している			○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している			○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している			○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している			○非該当
サブカテゴリー2(2-2)				
実践的な計画策定に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している			評点(○○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している			○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している			○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている			○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる			評点(○○)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している			○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる			○非該当
カテゴリー2の講評				
職員の意向は面談や園長がクラス打ち合わせに参加して把握しリーダー会で対応している 職員の意向は、年2回の一般職員面談シートを用いた面談時に1対1で様々な話を話し合う中で意向や意見を把握し、日常に職員からの意見や提案は常に相談を受ける事で把握でき、園運営に関する提案内容を迅速にリーダー会で話し合い判断している。年度末に向けては職員アンケートを実施し、次年度に向けて希望するクラス担当やその理由、以前の担当経験、さらに職員の次年度の就業意向も確認している。園長や主任は各クラスで検討してもらいたい事を事前に伝え、各クラスで意見や要望を集めてリーダー会で検討する事が多く職員の意見を大切にしている。 区の園長会を含めて地域の定例会議には積極的に参加して情報やニーズを把握している 地域の保育サービスに関わる情報は、年2回開催の私立認可園、小規模保育所、認可外、区立保育園を対象とした地域保育施設会議や、毎月実施の区立保育園長会、地区別園長会(11園参加)に参加して情報やニーズを把握している。地域会議では適切な保育を継続していくための人材育成や安全計画についてグループ討議を通じて私立園の実施している事に学びがあり、園長会では共通の課題として公開保育や園児・職員交流、在宅子育て支援についてグループ討議を行い、対応策を検討している。内容については職員会議で職員とも共有している。 事業計画は今年度の重点課題と重点の活動項目が明確なので職員との共有を進められたい 事業計画は今年度の園目標や重点課題で安心安全な環境整備、職員の質の向上、および重点実施項目を明確にし運営している。今年度の園目標は一般職員面談シートで共有されているが事業計画は職員全員と共有ができていないため、重点に進めている事は速やかに周知する事と合わせて、保育園マニュアルにも組み入れる事を進められたい。さらに事業計画には園長が体制を作った園目標達成に向けたプロジェクトチームのねらいや計画も加える事が望ましい。中間で重点項目の進捗を点検し、見直しが必要な場合には速やかに修正して再周知するよう進められたい。				

3 経営における社会的責任 評価項目1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる 評価 ●あり ○なし			カテゴリー3 サブカテゴリー1(3-1) サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評価 ●あり ○なし			標準項目 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評価 ●あり ○なし			標準項目 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組む、定期的に確認している。 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評価 ●あり ○なし			標準項目 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評価 ●あり ○なし			標準項目 2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評価 ●あり ○なし			標準項目 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評価 ●あり ○なし			標準項目 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている 標準項目 ●あり ○なし	標準項目 ○ 非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		5 / 5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	☐ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	☐ 非該当
カテゴリー3の講評 「こどもの人権に配慮した保育」に関して少人数で話し合う時間を作り意識を高めている 年度始めに基本的な項目、プライバシーポリシーや服務規程、安全な保育に関して読み合わせをしている。こどもの人権に関しては主任会の「こどもの人権に配慮した保育」の冊子を用いて園内研修を実施し、昨年度は冊子内容の事例について「クラスならどうするか」少人数で話し合う時間を設け全員で共有している。今年度の主任会では9マスシートで不適切な保育の事例や行動の背景について作成し現在保育実践して検証している。現在は年長児の言動やチック言葉が多い事を感じ、ふわふわ言葉やリフレーミング辞書を参考にクラスで話し合い対応している。 苦情解決の仕組みに基づき玄関に受付窓口や第三者委員連絡先を掲示して明確にしている 園の苦情解決の仕組みは入園時のオリエンテーションの中で、プレゼン用ソフトを使用し視覚化した重要事項説明の中で第三者委員による苦情解決のための仕組みを説明し理解を深めている。玄関入り口には相談・苦情窓口および第三者委員2名の連絡先、また福祉オンブズマンの案内を掲示して分かりやすくしている。第三者委員2名は区が委嘱しているため園長や園との直接の面識はなく、何かコミュニケーションを取る方法や場の設定について園だより等で園を知ってもらう方法、園行事に招待する事が可能かどうかを一度区に確認される事を進められたい。 園の機能や専門性を発揮し地域の在宅子育て家庭へ情報提供や不安軽減に取り組んでいる 園は年間で2回、児童館に栄養士や看護師が訪問してミニ講習会や個別相談を受ける機会を設け保育士が訪問して育児相談を行うことで専門性を発揮しつつ園のPRも行っている。さらに、園でも育児相談を毎週火曜、木曜日の13時から通年で実施し、地域の在宅子育て家庭の不安軽減に取り組んでいる。児童館との連携により館長との繋がりも深まり、園行事の参加者名簿や子育て情報誌「わくわく通信」も置かせてもらい良い関係ができています。11月には園内で公開保育「体を動かすって楽しいな」を予定し近隣園から9名の保育士の参加も予定している。		

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
立地条件からリスクで不審者侵入と水害を優先し関係機関と連携して対策を講じている 園の立地条件や周辺環境から現在のリスクは、不審者侵入と水害を危険と捉え対策を講じている。不審者対策には地元警察と連携して侵入された場合の対応方法を学ぶ事や窓際に目隠しの紙を設置している。新年度もすぐに外部講師(警察、消防)を招く日程を決め依頼文の作成を区に依頼し、また小学校と連携して水害被害を最小限に抑えるために、避難場所を小学校として避難訓練をしている。災害や事故防止対応は安全計画に基づき毎月の防災訓練や福祉避難所訓練、事故の未然防止のヒヤリハット管理等必要な対策を講じている。 事業継続計画は毎年点検して見直しており今後は保護者や自治会との共有も進められたい 事業継続計画(BCP)は詳細化して職員と共有している。内容の見直しは園の主査会で行っており、年度初めに事務所内(園長、主任、主査、看護師、管理栄養士)で現実と違う部分を確認、抽出した意見を反映させている。保護者に向けて安全計画は保護者会で説明しているが、BCPについても有事の際に可能な限り保育サービスを継続させるための計画を作成し周知している事を保護者に知ってもらえる事が望ましい。また、都営団地の自治会長にも同様の説明を行い有事の際の助け合いに繋がるように地域防災の意識を醸成する事に期待したい。 児童票など紙媒体の個人情報や電子媒体の取り扱いはルール化され厳重に管理されている 児童票や発達記録など個人情報に関わる資料は紙媒体で書庫に施錠して保管し厳重に管理している。児童票に追記する場合は事務所内で行うルールがあるが児童票使用管理簿に記入して各クラスでの使用も可能としている。毎年プライバシーポリシーの読み合わせの上で職員がサインをしている事から個人情報の取り扱いに関する意識は高い。電子媒体のPCは事務所内使用、デジタルカメラや携帯電話、タブレットは鍵付き書庫で保管し使用時には使用管理簿に記入する事をルールとしている。また、保護者からは個人情報の取り扱いに関する同意書ももらっている。		

5			カテゴリ5	
職員と組織の能力向上				
サブカテゴリ1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる			☐ 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)				
評価	標準項目			
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している			☐ 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)				
評価	標準項目			
☒ あり ☐ なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている			☐ 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)				
評価	標準項目			
☒ あり ☐ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる			☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている			☐ 非該当

サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
		3 / 3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー5の講評		
園長の人材育成に向けた想いは、職員に保育が楽しいと思えるようにしたいと考えている 園長の人材育成に向けた想いは、保育が楽しいと職員の楽しい想いがこども達に伝わり保護者の安心につながる。そのためには自分がやりたい事を思う存分に実行し自分を振り返る事ができるような人材に育成していきたいと考えている。この園長の想いは、一般職員面談シート内のキャリアデザイン欄の記入で話し合う事や、キャリアパスに関連する大田区保育園人材育成指針を職員会議で周知している。現在人材育成の課題を、職員が昇進・昇格を目指したくなるような園運営と行動をしていく事と捉え意識して実践している。 一般職員面談シートで職員の研修計画に基づき学びの機会を確保するように努めている 区の共通の仕組みである一般職員面談シートには個人の研修計画(自己啓発)を記入する欄があり、記載された希望研修は園長が一人一人と面談を実施し、個々の能力向上に向けた個別指導を行っている。希望研修は、園長が保育サービス課主催の研修にできるだけ参加できるよう調整しているが、制限もあるため、園長会で作成した「こころを育てる大田の保育」を読み込む事や、参考文献を読む事で専門性や知識の向上につなげる自己啓発を支援している。また、園内研修計画は年間で作成され、訓練や公開保育を含めて年に6回予定して現在進めている。 全員参加のプロジェクトチームはリーダー中心に園目標達成に向けて計画的に進めている 園長は、園で足りない事や強化したい事、発生する課題への対応も含めてプロジェクトチーム(PT)を作り、PT内のリーダーを中心に園目標達成に向けて計画的に進めている。PT活動は人材育成も込めているので、園長は極力見守りPTの進めたい方向性を大切にしている。昨年は6つのPTで活動してきたが、職員数の減少や重複する役割を整理して今年度は4つのPT(福祉避難所・応急保育所、公開保育、子育て地域支援、環境)を全員参加の体制として、ねらいや活動計画を明確にして、定期的な打ち合わせを行い報告する仕組みが良く回っている。		

7		カテゴリー7
事業所の重要課題に対する組織的な活動		
サブカテゴリー1(7-1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)		
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) こども達がのびのびと安心安全に過ごせる環境、保護者においても居心地の良い空間、職員も楽しく安心して保育が展開できる環境づくり、合わせて防犯対策等の課題に対し目標を「危険箇所の改善を行いこどもにとって長時間過ごす環境を安心安全に整える」として環境プロジェクトチーム中心に次の取り組みを行った。 ①チーム内のフリー職員によりホールの布団庫で混在していた遊具を分けた ②保護者の18時以降のお迎えも多く職員の退勤も遅くなることが度々あり玄関にライトを設置した ③同時に調理室前や自転車置き場にもライトを設置した ④不審者対策として施錠したままの窓に格子を設置した 以上の取り組みにより、保護者が布団を戻す際の危険が解消した事、保育者も遊具の出し入れが速やかに行えるようになり、こどもが待つ時間の軽減につながった。ライトの設置は防犯対策や事故防止につながった。さらに窓の格子の設置により感染が流行した際に安心して換気を行えることで感染防止対策にもつながった。 今年度も引き続き、転勤者の意見や毎年巡回がある保育サービス課指導係及び連坦推進係長からのアドバイスをまとめ、リーダー会で周知した内容を元に環境整備及び工事依頼を進めていく。		
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった	
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 園庭や園舎の劣化が激しく、こども同士の交流が進む工夫も行っているが多くの危険を伴うため、こども達が安心・安全に過ごせる環境、保護者が安心して預けられる事、そして職員が楽しく保育を展開できる環境づくりとして危険箇所の改善を行い、こどもにとって長時間過ごす環境を安心・安全に整えたいと考え取り組みを始めている。 環境プロジェクトリーダーが主体となり、ホールの布団庫に混在していた遊具を整理して分ける事や玄関や調理室前、自転車置き場にライトを設置、さらに不審者対策として施錠したままの窓に格子を設置している。園舎の外は東京都の敷地のために色々と制約があったが安心安全の確保のために実行している。 実際にホール布団庫の整理を行った結果、保護者が布団を戻す際の危険が解消され保育者も遊具の出し入れが速やかになり、こども達が待つ時間が短縮されるという成果が得られている。さらにライトの設置は防犯対策事故防止にもつながり窓の格子設置により開閉が可能となった事で感染対策にもつながっており良い成果が出ている。 今後も引き続き安心安全に向けて様々な意見を纏め、リーダー会で周知した内容を基に環境整備を継続していくとしてPDCAを回している。		

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度、保護者から保育士のこどもに対する対応に厳しい意見があった事や、職員同士の連携が取れていない事は問題と考え、解決に向けチームワークの向上を課題と捉えて、テーマを「職員の保育力向上及び意思統一を図るために園内研修の充実をはかる」と定めて次の取り組みを始めた。

①保護者対応で苦慮したケースについて事例検討をして対応方法について議論した

②令和4年度公開保育で学んだドキュメンテーションをクラス毎に実践した

③主任・副園長の研修である主任会において2年にわたり「こどもの人権に配慮した保育」を学び、こどもへの関わりのヒントや手掛かりとして活用できる冊子を作成、冊子の事例に対し各クラスで検討し技術の向上に努めた

取り組みの結果、事例検討は該当クラスの課題を理解し、幼児クラスはバックアップしようと団結が芽生え、保護者対応の有益化が図られた。またドキュメンテーションを職員が共に経験できたことは保育の向上につながるきっかけとなった。さらに副園長が主となり行った事で従来とは違った視点で学びにつながった。

今年度は園内研修の内容を臨機応変に変更する可能性はあるが、見通しが持てるように継続して保育力向上に向けて実施していく。

目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

チームワーク向上の課題に対して、職員同士の連携が取れていない事や一部保護者からこどもに対する対応で厳しい意見があった事を踏まえ、職員の保育力向上及び意思統一を図るために園内研修の充実をテーマに定めて取り組みを始めている。

保護者対応で苦慮したケースについては、事例に基づいた検討をして対応方法を議論している。また前年の公開保育で学んだドキュメンテーションを各クラスで実践する事や、さらに「子どもの人権に配慮した保育」を主任会で纏めた冊子の事例に対して、副園長が主となって各クラスで検討する事で技術の向上に努めている。

事例検討を行った事で該当クラスの課題を理解して、幼児クラスはバックアップしようと団結力が芽生えて保護者対応の有益化が図られた事は大きな成果と思われる。またドキュメンテーションの経験は保育の向上に繋がるきっかけとなり、こどもの人権に関する事例検討は副園長が主となって行った事で従来とは違った視点で学びに繋がった事も成果である。

今年度は園内研修の内容を臨機応変に変更する可能性はあるが継続して保育力向上に向けて実施していくとしてPDCAを回している。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4／4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
評点(〇〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		○非該当
サブカテゴリー1の講評			
区のホームページや園のパンフレット・掲示板等で情報提供を行っている 区のホームページには、園の概要や保育目標・行事について・園周辺の環境・保育の特色等が掲載されている。パンフレットには、保育の目標や大切にしていることを「大樹の観覧車」として読みやすく、わかりやすいように工夫して表記し、園舎平面図や年間行事予定・こどもの一日の様子等の情報を載せている。掲示板には、課で作成している看護師の「健やか子育てだより」や食事について栄養士より「すすくPower」・育児応援事業ポスターを掲示し利用希望者に情報提供を行っている。 各関係機関と連携し、冊子やポスター掲示を依頼し情報提供に努めている 行政には、園の状況(見学会の日程・空き状況・園運営上の情報等)を伝えている。近隣の児童館2館には、行事へのお誘いのポスター掲示の依頼や、見学会の日程が記載されている子育て支援の冊子(わくわく通信)を置かせて頂いている。福祉園との交流も行っているが、こども達がチューリップの球根を植える活動や移動動物園でヤギやヒツジ・アヒル・モルモット等と触れ合う様子を写真で掲示を行い、保育園児と福祉園職員との交流の様子がわかる内容を掲示する等、保育の内容を発信して利用希望者に情報の提供を行っている。 園見学会や入園に関する問い合わせの対応を行っている 園見学会は年間6回(6／26・9／11・9／18・10／16・10／23・11／13)計画し利用希望者に広くお知らせしている。また、家庭によっては日程が合わない場合もあるので、その際は個別の相談を受け希望に沿った対応を行っている。よく聞かれる質問は、健康についてや持ち物・おむつについて等が多く関心を持たれている。当園の地域性としては、外国籍の方も多く住んでいる地域なので見学案内の時には、園の情報は視覚を通して伝えたり翻訳機を利用していきながら丁寧な対応を行っている。			

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
サブカテゴリー2の講評			
サービスの開始前には、オリエンテーションを実施し重要事項説明を行っている 2月中旬に4月入園の名簿が届くと、書類を保護者に取りに来て頂く。育休中の保護者は、2月22日から7日間の日程で面談を行い、勤務中の方は3月10日に実施している。面接は保育者や看護師・栄養士・園長が行っている。3月10日に健康診断を行い13日にオリエンテーションは、新入園児の保護者に実施している。プレゼン用ソフトを使用し視覚を通して重要事項説明を行い、その後保護者より「個人情報の目的について」の同意を得ている。 こどもの保育に必要な情報は、個別の書式に記録し把握している 新入園児の入園前の生活の様子や生活リズム・既往歴・食物アレルギー・食材・きざみ等の食事の形態について新入園児面接記録に記入している。記録された保育上必要な情報は、3月末の職員会議の中で情報共有を行ったりクラス打ち合わせ等で、職員間で共有している。また一人ひとりの家庭での生活リズムや食事の様子・過ごし方・こどもの発達等については、個人の児童票や児童調査票に記録され、事務所の鍵付き書庫の中で保管している。 入園後はこどもの不安解消に努め、保護者と密に連絡を取り合い保育を進めている 入園後は、子どもの様子や保護者の就労状況に配慮していき、慣れ保育を実施している。入園初日は初めての場所で不安が大きいので、保護者と一緒に保育室で遊んだり食事を食べさせてもらい、安心感と心地よい場所を感じてもらえるよう工夫した受け入れを行っている。慣れ保育を進めていく中では、日中の子どもの様子や保護者の職場復帰の時期・各家庭の事情に配慮し、こどもが大きな不安を抱えないようにフリー職員や主任・栄養士・看護師等園全体で体制を取りながら保育にあたり、こどもの不安解消に努めている。			

サブカテゴリ3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 13／13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○ 非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○ 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○ 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒あり ☐なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	☐非該当
☒あり ☐なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	☐非該当
☒あり ☐なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	☐非該当
	サブカテゴリー3の講評	
保育をする上で必要な個人情報を把握し、定められた書式に記録している 0歳児・1歳児・2歳児は、家庭での様子や園での様子(食事や睡眠・排泄・機嫌・遊び等)を24時間通してリズムを把握し定められた書式(連絡帳)に記入している。幼児クラスは、週案と一緒にしている用紙に1日の子どもの活動を記入し、玄関近くの廊下に掲示し保護者に伝えている。アレルギー対応児は、毎月翌月の献立について保護者とアレルギー確認票を基に打ち合わせを行い、献立の確認をしていき誤食防止に努めている。また、こども一人ひとりの発達記録や調査票、個人面談の内容は、児童票に記録をしている。 全体的な計画を基に、年間・月間指導計画を作成し見直しを行っている 区立園共通の「保育の内容に関する全体的な計画」を基に、各クラスの年間・月間指導計画(0歳児・1歳児・2歳児・支援が必要なこどもは、個別の指導計画を作成)・週案が作成されている。「こころを育てる大田の保育」を基に養護と教育の項目に分かれた内容となっている。0歳児の教育の項目は、3の視点で作成され1歳以上児は、5領域に分かれた計画となっている。年間指導計画は、年間を4期に分けて作成されているので期ごとに反省振り返りを行い、月間指導計画は月ごとに振り返り・評価を行い次期・次月の計画に反映している。 こども一人一人に関する情報は、適切に作成し記録する仕組みがある 園での1日の様子は、0歳児・1歳児・2歳児は個別の日誌の中に記録されている。幼児クラスは、保育日誌に「保健」「特記」の枠があるので子どもの変化があった場合には、枠内に記録を行っている。また児童票には、入園前の生活から退園するまでの個人記録が網羅されている。1日のこどもの様子は「連絡ノート」を活用して、健康面や連絡事項を記録している。延長を利用するこどもに関しては、延長番日誌の中に健康面や変化の姿等を記録し翌日の保育者に申し送りを行える仕組みになっている。		

	サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)			
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)			
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当
	サブカテゴリー5の講評		
こどもの人権やプライバシー・羞恥心に配慮して保育を実践している 子どものプライバシーや個人情報に関わる説明はオリエンテーションで実施し、保護者より同意を得ている。身体計測時は、幼児クラスは事務所でカーテンを閉め男女別に計測を行い、0歳児・1歳児・2歳児は各クラスで行っている。水遊びやプール遊びの着替えも、男女別でラップタオルを使用し担任がそれぞれについて着替えを行っている。こども達には着替えの手順を知らせていき、全裸にならないように着替えている。0歳児・1歳児2歳児のおむつ交換コーナーにパーテーションで囲いを作り、人の目に触れないよう羞恥心に配慮している。			
こどもの人権を守り、尊重した保育実践を積み重ねている こどもと行事や遊びの話し合いを行っているが、グループに分かれ話しやすい雰囲気の中で意見が出し合える環境を整えている。様々な発想や考え意見が出されるので、保育者はどのように工夫すれば実現できるのかを考えた保育を行っている。カブトムシの飼育箱にはこどもが考えた名前が1匹ずつつけられ、飼育観察を行っている。広い園庭遊びの中でも決まりやルールを守りながら、沢山のタイヤやお風呂マットが準備されているので、自分達で考えた遊びを思う存分楽しめる保育実践を積み重ねている。環境プロジェクトを中心に園庭の安全点検を行っている。			
虐待防止や不適切保育を意識した保育、また育児困難家庭への支援を行っている 虐待防止や不適切保育に関わる研修を積極的に受講している。受講後には職員会議の中で研修報告を行い職員間で情報の共有を行っている。こどもの体を丁寧に観察して心の変化を見逃さずに継続していき、状況によっては他機関に相談し連携を図りながらこどもを守る保育を行っている。不適切保育については、人権擁護のセルフチェックシートを活用しチェック後に職員間で話し合いを行い意識が深まるような取り組みをしている。育児困難家庭も保護者の様子を把握し、体に傷がないか確認しながら他機関と連携を図りアドバイスを受け支援を行っている。			

6	サブカテゴリー6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
	評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○ 非該当
	評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○ 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○ 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
区のマニュアルや手引書・ガイドラインが整備され活用している 区で作成されている共通のマニュアル(保育園運営の手引き・安全計画防災の手引き・大量調理施設マニュアル・保育業務の手引き・感染症ガイドライン・安全保育マニュアル等)が整備され、マニュアルを活用していきながら園運営を行っている。各種マニュアルは、事務所の書庫に保管されているので必要に応じて職員が活用している。また当園独自の保育園マニュアルを整備し全職員に配布して、年度初めに職員会議の中で読み合わせを行っている。個人配布のマニュアルに加え、緊急対応マニュアルは各保育室に置き、常時困った時に確認し活用している。 各種マニュアルは、定期的また必要に応じて見直しを行い園運営に反映している 区のマニュアルで変更・見直しがあった時には、リーダー会議の中で内容の確認や変更点の理解を行い、職員会議の中で周知徹底を図っている。周知した後は職員が理解できたか確認を行って対応している。変更点については差し替えをして常時新しい情報となっている。園独自の保育マニュアルについては、適宜見直しがある箇所について、職員間で共有を図りながら活用している。3月・4月の時点で見直し修正に責任をもつ職員を決めて、修正を行い園運営に反映している。 保護者に行事ごとのアンケートを依頼し、感想や意見を園運営に反映している 行事後には保護者アンケートを実施し、意見や感想・ニーズを把握して集約した結果を報告している。また、日々の送迎時や玄関入り口に設置している「意見箱」や連絡帳等で保護者の意向を受け止め、リーダー会で検討を行っている。検討された内容には、問題意識を持ち職員会議の中で共有し園運営に活かしている。職員から出た意見については、トップダウンにならないようにリーダー会の議題に乗せて検討し、クラスにフィードバックをして再度課題の共有を行い、解決策を導き出すよう努めている。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4																						
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	36／36																					
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている 評点(〇〇〇〇〇〇)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当	●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○ 非該当		
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当																						
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当																						
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当																						
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○ 非該当																						
評価項目1の講評																								
こども一人ひとりの発達や全体的な姿を把握して保育を行っている こどもの全体的な姿は、新入園児面接時や連絡帳・送迎時に把握し、月2回各クラス打ち合わせの日が決まっているので、打ち合わせの中や日々の申し送りの中で、職員間で共有を行っている。0歳児・1歳児・2歳児は、家庭の生活リズムが園生活に大きく影響するため、園生活に合わせるのではなく、こどものリズムに合わせた保育を実践している。子どもの変化については、複数の職員の目で捉え担任間で話し合いながらこどもの理解にずれが生じないよう配慮し保育を行っている。こどもを尊重した保育を行うために話し合いを大事にしている。 こどもの興味や発達に沿って、保育室の環境構成を工夫し保育を積み重ねている こどもが主体的に遊べるように、室内の環境構成を工夫している。玩具棚の高さや数・自分で出し入れしやすい表示を工夫し、こどもの成長や興味・季節に合わせて玩具の入れ替えや室内のレイアウトを変更する等、こども中心の動線を考えた環境構成を行い安心して心地よく過ごせるように配慮している。0歳児ベランダは使いやすく安全が補償できるようにマットを敷き詰めている。園庭の環境も可動式の遊具(タイヤ・マット・テーブル・椅子等)を利用してどの場所でも遊びが繋がり、こどもの発想を大切に保育を行っている。 こども同士のトラブルについては、双方の気持ちを受け止めた保育を行っている 0歳児・1歳児・2歳児については、言葉で表現するのが難しいので、保育者が仲立ちとなり双方の気持ちを受け止め、スキンシップを取りながら言葉を添えた関わりに努めている。幼児クラスのこども達は、お互いの気持ちを相手に伝えていき自分の気持ちと人の気持ちを知り、仲良くなるためにどうするのか、こどもが考える時間を作り話し合っ解決できるように援助している。噛みつきや怪我のケースについては、経過を探り状況を把握して双方の気持ちが納得できるよう援助している。援助の方法については、園内研修として職員で検討している。																								

2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている 評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	☐ 非該当
	評価項目2の講評 基本的な生活習慣の大切さを保護者に伝え援助を行っている 保護者会の中で年齢や発達に合わせて、食事や排泄・睡眠・着脱・清潔等についてプレゼン用ソフトで説明をし家庭での接し方や生活のリズムの大切さについて説明している。こどもの姿に合わせて園でもクラス打ち合わせを行い、こどもの特徴や姿を話し合い無理強いすることなく気持ちを受け止めた援助を行っている。また、職種の違う看護師や栄養士から話を聞くことで、こどもに響く取り組みとなっている。看護師からは、手洗いや風邪の予防について等の話を聞いている。栄養士は、食べ物が体づくりに大事なことや偏食等の話をして援助を行っている。 午睡の時間をクラスごとに時間差を設けてホールに入り、午睡の準備を行っている 午睡を休息の時間と捉え、幼児3クラスはホールで寝ている。年齢によってホールに入る時間に差をつけ入室している。午睡の時間がこどもにとって嫌な時間にならないよう、無理強いすることなく静かにできない時には、ホールから出て気持ちを静めてから担任とゆっくり入りこどもの気持ちや当日の体調等に配慮している。早く目覚めた子どもは横になり体を休めたり様子によっては、別室で担任と過ごし眠れない日もある。5歳児は就学に向けて、1月より午睡をなくして保育室で机上遊びや製作等で過ごし体力をつける保育を行っている。 降園時には、こどもの様子を口頭や連絡帳を通して保護者に伝えている 降園の際には、日中のこどもの姿や友達との関わり・会話・つぶやき等のかわいい姿を伝えている。園だよりの中にも裏面に特集を組み、こどもと保育者の関わりが伝わるような、ほっこりする内容でお知らせしている。また連絡帳にも記入していき保護者とこどもの姿を共有し成長を楽しめるような援助を行っている。0歳児・1歳児・2歳児は緩やかな担当制をとり、少人数に分かれて保育を行うことで、子どもの言葉や表情、会話を読み取り、場面に応じた関わり方や援助を行い、喃語や単語、言葉を引き出すような丁寧な関わりを行い保護者と共有している。		
3	評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	☐ 非該当
	評価項目3の講評 こどもの生活が豊かになり、主体的に遊べる環境に力を入れ取り組んでいる こども一人一人が自分で遊びを選び、じっくりと遊び込めるように保育室や園庭等の環境構成に力を入れ取り組んでいる。経験を重ねるために、幼児クラスは朝の会ではボードを使って一日の予定を話し、こども自身が生活の見通しを持てる取り組みを行っている。また、園外の施設(図書館・児童館・福祉園等)を利用したり、保育者以外の人(他園のこども・保育者・警察官・消防士等)と交流することで、生活が豊かになり幅が広がっている。保育室にはそれぞれ魅力的なコーナーが設定され豊富な玩具や素材を準備することで発想が広がり遊びが展開している。 一人一人のこどもが、言葉で表現できるような保育を行っている 0歳児クラスでは、喃語を発することで自分を表現している。保育者はこどもの目の高さに合わせ喃語や単語が出るように、こどもの気持ちを探り話しかけている。手遊びや歌・絵本を用いて言葉を知らせていながら、安心して楽しい雰囲気の中で保育を行っている。園庭に乳児が遊ぶスペースがあり(他児とぶつかり怪我が起きないように配慮している)大きいクラスのこども達と自然な交流(異年齢交流)の中で、優しくされたり言葉をかけてもらい情緒が安定して過ごしている。共に過ごすことで言葉の習得や人と繋がるような保育実践を行っている。 戸外遊びを通して、自然に触れ季節を感じる保育実践を行っている 広い園庭には各クラスの名前の木(サクラ・ウメ・モモ・リンゴ・ミカン・イチゴ)が植えられているので、季節を感じながら草花を拾ってままごと遊びに使ったり虫探しなど楽しんでいる。近隣には公園が沢山あるので、散歩先で季節の自然に触れどんぐりや椎の実・落ち葉を拾い持ち帰って製作に取り入れている。また園庭で見つけた青虫を飼育箱で育てミカンの葉を摘んで、お世話をして楽しんでいる。食育の一環でプランターで野菜の栽培をしてきたが、秋にキュウリ程の大きさのオクラが育っているのを驚きの目で見成長を楽しめる保育実践を行っている。		

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している			評点(〇〇〇)											
	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th colspan="2">標準項目</th> </tr> <tr> <td> ☒ あり ☐ なし </td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td> ☐ 非該当 </td> </tr> <tr> <td> ☒ あり ☐ なし </td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td> ☐ 非該当 </td> </tr> <tr> <td> ☒ あり ☐ なし </td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td> ☐ 非該当 </td> </tr> </table>				評価	標準項目		☒ あり ☐ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	☐ 非該当	☒ あり ☐ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	☐ 非該当	☒ あり ☐ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている
	評価	標準項目													
	☒ あり ☐ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	☐ 非該当												
	☒ あり ☐ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	☐ 非該当												
☒ あり ☐ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	☐ 非該当													
評価項目4の講評															
こどもの興味や関心を捉え、行事に自ら進んで取り組んでいる 春頃より、運動会のイメージを膨らませ日常の中で取り組んできた運動遊び(跳び箱・鉄棒・縄跳び・大縄跳び等)をこども達と話し合い、行事に向け意見を出し合って取り組んできた。年長児は、昨年の運動会の記憶が残っているため、一人一人がやってみたい事をイメージしている。リレーの走る順番をこども達で決めていったので運動会当日まで決まらなかったが、保護者に丁寧に伝え理解を得ることができた。保育者主導の保育ではなく、こどもと様々な種目についても意見を出し合ってこどもが主体的に運動会に取り組めるような行事となっている。 こども達が協力して行事に取り組み達成感を味わっている 七夕お楽しみ会では、どんなお店屋さんにするかをこども達と話し合って決めている。魚つり・ヨーヨー・ボーリング・的あてのお店屋も決まり売り手もこどもが行い、ホールは魚つりとヨーヨーのお店、5歳児室は的あてとボーリング、4歳児室はカフェ(お茶とおせんべい)、3歳児室は待機場所として決める。こども達はどのお店からまわっていくかワクワクしながら買い物やゲームを楽しんでいる。5歳児は友達と協力して遊ぶ楽しさを存分に感じ、みんなの喜ぶ姿に満足感と達成感を味わえる取り組みとなっている。 保護者の理解や協力が得られるように、事前に丁寧なお知らせを行っている 年間の行事予定表は、保護者の方が早めに予定が組めるように、4月早々に配布を行っている。保護者会も各クラス年に2回予定しているが、2回のうち1回は土曜日開催を実施している。土曜日に保護者会を行うことで保護者の参加も増えている。外国籍の保護者が多いので、行事の前には丁寧なお知らせや説明、また掲示をすることで期待を持って参加して頂いている。日本の伝統文化の行事(お月見・お正月遊び・こどもの日の集い等)を掲示することで、視覚を通して理解してもらえるよう工夫し取り組んでいる。															
5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている			評点(〇〇)											
	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th colspan="2">標準項目</th> </tr> <tr> <td> ☒ あり ☐ なし </td> <td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td> <td> ☐ 非該当 </td> </tr> <tr> <td> ☒ あり ☐ なし </td> <td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td> <td> ☐ 非該当 </td> </tr> </table>				評価	標準項目		☒ あり ☐ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	☐ 非該当	☒ あり ☐ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	☐ 非該当		
	評価	標準項目													
	☒ あり ☐ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	☐ 非該当												
	☒ あり ☐ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	☐ 非該当												
評価項目5の講評															
長時間保育のこどもが、安心してくつろげるような配慮を行い保育を行っている 夕方の時間帯は、怪我の件数も増え疲れもでてくるので、安心してくつろげるような環境構成を行っている。乳児クラスは日中を過ごし慣れている自分の部屋で遅番保育を行い、早い時間に合同保育にならずに、こどもの気持ちを受容し、ゆったりとした時間の中での保育を心がけている。幼児クラスの遅番や延長の時間には、延長用の玩具を用意し特別感を出し、遊びがマンネリ化しないような工夫を行っている。玩具の点検や入れ替えについては、随時幼児リーダーが行い安全で安心できる環境を整え保育を展開している。 保育形態に変化がある場合も、安心して移行できるように配慮をしている 遅番の時間は、17時05分より4・5歳児が合同になり5歳児室で保育を行っている。0歳児から3歳児は、18時まで自分のクラスで保育を行いコーナーでゆったりと遊べるよう配慮をしている。18時過ぎると延長の部屋になる3歳児室に移行して、夕方の疲れが出てくる時間帯にこども達が部屋を移動することをできるだけ少なくし、安心して過ごせるよう配慮を行っている。延長保育は、毎日同じ非常勤職員が配置されこどもと関わっているため、不安にならずに過ごすことができ延長保育日誌の中には、こどもの様子や遊びを記入し申し送りを行っている。															

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	☐ 非該当	
	評価項目6の講評			
	メニューや味付けに工夫を凝らし、落ち着いて食べられるように配慮を行っている こども達が給食を楽しみにできるよう日々食事の時間に栄養士が巡回を行い食べ具合や食べる様子を観察して、食事の状況を把握し献立反省に活用している。味付けは、だしの香りがして全体的に薄味の優しい味になっている。幼児クラスの職員もこどもと一緒に食事をして楽しい雰囲気です。ほっとする時間になっていた。おかわりをしながら好きなものを食べ、少し苦手な料理にも挑戦している姿が見られた。また落ち着いて食べられるように座る位置に自分のマークをつけて工夫をしている。行事食の時には椅子やテーブルの位置を変えて会食の雰囲気で楽しんでいる。 アレルギー食や宗教食の提供については、細心の注意を払い誤食防止に努めている アレルギー食の提供については、医師の指示書を基に毎月保護者と献立についての面談を行い、除去食や代替食について確認を行い提供している。栄養士と調理師間でも細やかに確認を取り調理を行っている。出来上がった給食は、受け取りに行った保育者と確認を行いトレイに乗せて配膳し誤食を防ぎ、保育室では専用の机を使用して食事を行っている。また、宗教食(宗教上の除去食)に関する要望にも対応し、家庭の事情に合わせた給食の提供を行い、こども達のより安全な給食提供し、誤食防止に努めている。 食に関心が持てるよう、野菜の栽培や下準備の手伝いをする保育を行っている 広い日当たりの良い園庭のプランターで夏野菜(キュウリ・ナス・ピーマン・オクラ・サツマイモ等)の栽培を行い、日々水やりをしながら野菜の育ちに関心をもちお世話をしている。また、給食食材の皮むき(ソラマメ・インゲン・トウモロコシ等)の経験を行い、関心を持って取り組んでいる。食育の一環として庭に梅の木があり、実がなったら4歳児うめぐみが収穫を行っている。ジャム作りの様子を見て緑色の実が熟を加えると赤やオレンジ色に変化する様子を驚きの声をあげ、味わってみると「すっぱい」と感じながら食育活動を楽しんでいる。			
7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している			評点(〇〇〇)
	評価	標準項目		
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	☐ 非該当	
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	☐ 非該当	
	評価項目7の講評			
	保育園保健計画を基に、こどもが健康や安全に関心が持てる取り組みを行っている 看護師作成の保健計画には、園目標や年間保健目標・期ごとの保健目標・保健行事・期ごとまた年間通して行う保健活動・園児に対する健康教育などすべてが網羅されており、計画に沿ってこどもの健康や安全に留意した取り組みを実施している。こどもに向け手洗いの仕方や歯の健康・夏の過ごし方・プライベートゾーンについて・目の話・歯の話等こどもに伝わるよう話をしている。また安全教育については、警察に依頼し防犯訓練を見学したり煙体験や起震車体験を行い、安全について関心が持てる取り組みを行っている。 嘱託医による健康診断の実施や、関係機関と連携を図り健康管理に努めている 嘱託医による健康診断と歯科検診は年間2回(春・秋)実施し、0歳児は毎月1回健康診断を行い、こども達の健康管理に努めている。保育中に体調を崩した場合には、事務所で安静にして看護を行っているが状態によっては保護者に知らせ迎えに来ていただく。場合により園医に相談し保護者に連絡を行い承諾の基で、救急要請をする場合もある。0歳児は毎月健康診断を実施しているので、その際近隣で流行している感染症の情報や園で発症している病気や気になる症状について園医に聞くなど、こどもの健康管理には、細心の注意を払っている。 SIDSの予防や感染症の情報は、迅速に保護者に通知し、注意喚起を行っている 朝の受け入れ時には丁寧に健康チェックを行い、一日を通して保育者より声がかかるとこどもの様子を視診して健康管理を行っている。午睡時には、SIDS(乳幼児突然死症候群)の予防で午睡チェック表に記入しこども達の健康管理を行っている。0歳児は5分間隔、1歳児と2歳児は10分間隔、幼児クラスは30分毎のチェックを行い、うつ伏せにならないように仰向けに体位を変えたり、換気や室温・湿度・採光・顔色等細やかに観察を行っている。また感染症の情報は、潜伏期間や主な症状等を記載して掲示板や電子媒体で速やかに配信をしている。			

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当
	評価項目8の講評		
	保護者の個々の事情や就労状況に配慮した支援を行っている 保育時間は保護者の勤務時間プラス通勤時間で決めているが、各家庭の事情(勤務変更・看護・通院・病気等)に合わせて柔軟に対応している。また突発的な電車の事故や遅延・残業・自然災害等の場合は、諸々の事情に応じた保育を行い保護者支援を行っている。延長スポット利用も20名の枠を設けているので、当日の緊急事態にも対応可能となっている。個人面談や保護者の希望に応じて面談・送迎時に担任との会話を通して、家庭の事情を聞きながら職員体制を整え対応し、丁寧な支援に繋げている。 保護者会では、保護者同士の交流が持てる機会を設け意見交換を行っている 保護者会では、園でのこどもの生活や遊び、1年間の成長の姿、こどもとの関わり方等、保護者が子育てに見通しが持てるようにお伝えしているが、保育園の役割の中に保護者同士のつながりが持てる支援もある。懇談の場を設けグループに分かれこどもの発達や姿に沿ったテーマを設けて、楽しい雰囲気の中で話し合いができるように取り組んでいる。グループの分け方も同じ悩みを抱えている保護者同士や保護者の方の性格、考え方の似ている方々に分ける等、細やかな配慮を行い交流の場を設けて意見交換を行っている。 こどもの発達や育児相談を行い、こどもの理解につなげる支援を行っている 日々保護者との信頼関係を築いていくために、こどもの日中の姿を連絡帳や電子媒体・掲示・週案と1日の様子・送迎時に口頭で伝える等の様々な方法で、こどもの理解と保育者との信頼関係の構築に努めている。保育者は挨拶に加えて積極的な姿勢を持ち、より良い関係になるよう心がけている。育児相談を担当が受けることが多く、育児の悩みや不安に思う事・関わり方について話を聞きながら、保護者が望んでいる思いや気持ちに応える対応を行い、こどもの成長や姿について保護者の理解につなげられる支援を行っている。		
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
	評価項目9の講評		
	こどもの活動の場を広げるために、地域資源を活用し様々な体験を行っている 地域にある図書館の「おはなし会」に継続して参加していき、色々な方と交わる中で公共のルールを知る機会や少し緊張感を持って接していく事も学びながら交流を行い楽しい取り組みとなっている。訪問予定の日が雨になった時には、図書館の方より園を訪問できるという提案も頂き交流の場が広がっている。また福祉園との交流の中では、こども達がチューリップの球根を植える体験や開催される移動動物園に参加し、モルモットを抱いたりヤギやヒツジと触れ合う経験を行い、こどもの生活に彩りを与え生活の幅が広がるような活動を行っている。 地域の方に園の行事への参加を呼びかけたり、他園のこどもと交流する機会を設けている 園で企画する「七夕お楽しみ会」や「保育園で水遊び」の行事に、地域の子育て家庭にもポスター掲示で参加を呼び掛けている。七夕お楽しみ会では、さかな釣りやヨーヨー釣り・ボーリング・的あて等、親子で楽しめる内容となっており、園児の姿や保育園の様子が伝わる内容で実施している。こどもは張りきって活動し色々な人と交流を持てる取り組みを行っている。また、近隣保育園の年長児と継続した交流を計画し、一緒に遊びわくわくする体験を積み重ねている。2月には小学生との交流も計画され、就学前の貴重な体験となっている。		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル①	園庭や園舎内の危険箇所の改善を重点としてこどもの安心安全な保育環境を整備している	
内容①	安全計画は年度初めに職員全員と読み合わせして意識を深め、保護者会でも説明して理解も得ている。園はこどもの安心安全な保育の実施や保護者に安心感を持ってもらうために、園舎や園庭の危険箇所の改修や劣化対応を重点に実施している。昨年は築山を撤去した事で怪我が大幅に減り、また走り回る事が可能になり大きく改善している。今年度の重点課題も安心安全な環境整備として位置付け、各クラスからの安心安全を意識した設備に関する工事希望を纏めてリーダー会で検討し、それぞれの希望に対して精査して区の担当部署への依頼につなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	若手、中堅、ベテラン職員が話しやすい雰囲気と共に認め合う事で同僚性が高まっている	
内容②	園長は個別面談だけでは限りがあるので話を良く聞くように心がけ、特に心配事や気になる事がないかを尋ね、一人一人の職員を支えている事を態度や声掛けを通して常に伝えている。昨年は「どうして保育士になったのか」をテーマとして、クラス内でフランクに若い保育士の想いを出し合える場を設けている。この事で若手、中堅、ベテランの職員と保育親が違う事を認め合い、話しやすい雰囲気の中で話す事で同僚性が高まっている。職員調査でも世代間の連携や若手職員とお互いに刺激し合う事の評価が多く、今後も小集団で話す機会の継続を考えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	こどもの気持ちを尊重した保育に取り組み、園生活が豊かになるよう援助している	
内容③	こどもが主体的に遊び込める環境構成に力を入れ、発達や興味・関心に添った保育を目指している。環境構成も0歳児・1歳児・2歳児は、一人遊びを満足させ個から小集団に移り変わる年齢なので、保育室内を遊びのコーナー別に充実(玩具の質・量・配置・遊びの繋がり等)させ、レイアウトもこどもの興味や成長に合わせ随時変えている。また運動会のオープニングで5歳児がチアダンスを行うが、3歳児が憧れの眼差しで見ている気持ちを尊重し、運動会後に演じた種目を交換して遊ぶ保育を行い、異年齢の中で遊びの伝えあいが豊かに展開されている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園だよりの特集で「ほっこりする会話」や、保育者とこどもの関わる様子を紹介し保育の見える化に努めている
	内容	園だよりの裏面に特集を組み、こどもとの関わりや親子の会話を載せている。2歳児の給食場面では、唐揚げの日に次々とこどもが落としてしまう。保育者が一言「今日の唐揚げはいきがいいね」と掛けた言葉で食事の雰囲気は想像できる。こどもに指導優先ではなく、失敗したと捉えているこどもの気持ちを和ませこどもを大事にしているエピソードや家庭で母がてんぷらを次々お皿に盛り付ける傍らで、つまみ食いするこどもに「そんなに食べると無くなるよ」こども「それはすまねえな」とほっこりする場面や会話を紹介し保育の見える化に努めている。
2	タイトル	地域の様々な人と触れ合う中で、こどもの生活が豊かなるような保育を展開している。
	内容	園独自で実施している七夕お楽しみ会や夏の水遊びに、地域の親子に参加を呼びかけこども達も一緒に関わりながら遊びを展開している。七夕お楽しみ会では、さかな釣りやヨーヨー・ボーリング等のお店屋さんになり、張り切って楽しんでいる。警察官による防犯訓練の見学や煙体験・起震車体験を通して様々な刺激を受けている。図書館のお話会への参加や福祉園での活動も行い(チューリップの球根植え・移動動物園で動物と触れ合う)職員以外の人と触れ合う中で、こどもの生活に彩と豊かさうまれ成長への大きな経験の積み重ねを行う保育を展開している。
3	タイトル	こどもの遊びが広がり自然に異年齢交流がうまれるような、園庭の環境作りに工夫を凝らし取り組んでいる
	内容	園庭には可動式のタイヤやお風呂マット・テーブル・椅子が設置され、こども達はイメージを広げながら主体的に遊び友達と協力して楽しみ、その中でみだた遊びやごっこ遊びが膨らんでいる。園庭の環境作りは、環境プロジェクトが中心になり工夫して取り組んでいる。曜日により園庭遊びの日を決めているが、プランターやかごで囲いを作り小さいこどもの遊びのスペースを作ることで、怪我が減少している。また園庭遊びを通して異年齢交流が自然に行われ、小さい子への思いやりの気持ちが育ち大きい子から遊びの刺激を受け遊びを通して成長が見られている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者の意向を把握する仕組みが機能し、今後は年度末に総合的なアンケートを実施し意見や要望を次年度に繋げる仕組みの検討に期待したい
	内容	保護者の意向は大きな行事や保護者会の後にアンケートを実施して把握している。また連絡帳や送迎時に意向を聴く事も多く、意見や要望に関しては直ぐに職員間で話し合い対応している。アンケートの内容や対応についてはクラスだよりに明示して保護者に報告している。行事後のアンケートは電子アプリで行う仕組みが定着しているが、今後は年度末に園の取り組みに関する総合的なアンケートも実施して保護者の意向や要望を確認し次年度に繋げていく仕組みも検討されたい。今回の利用者調査での貴重な意見も沢山集まっている事から実施に期待したい。
2	タイトル	毎年人権擁護のセルフチェックリストを実施し個人の振り返りに活かしており、今後は共通する部分を全員と共有して有効な活用に期待したい
	内容	虐待の防止に関する組織的な防止対策として、虐待マニュアルの理解や事務所に虐待通告の手順を掲示して職員の意識は深まっている。園では毎年人権擁護のためのセルフチェックリストを実施し、個人の振り返りは保育に活かし結果は園長に提出している。園長は年度末に職員全員に年間で良くなった部分を労う手紙を出して次年度に繋げている。今後は園長に集まった職員のチェックリストから、職員のチェックが共通する項目(留意すべき項目)に対して、一部でも良いので園長より職員全員と共有して研修や保育実践に活かせるよう有効な活用に期待したい。
3	タイトル	中期計画は全員の共通理解の必要性を感じており、目指す保育園の姿や園長の想いを今から共有して次年度の作成に繋げる事に期待したい
	内容	中期計画は園が目指す保育園に向けて保育環境、保育の質の向上、危機管理、職員の自己実現、保護者対応、地域交流、子育て支援の7項目について目標を定め、毎年振り返りを行い今年度が最終年度としている。園長は中期計画作成にあたり関わる職員が一部のため全体での共通理解の必要性を感じ、次期中期計画からは職員の想いを聞く場を設けると考えている。目指す保育園の姿に向けた園長の想いと実施項目は、今から職員全員と共有し次に繋げる事に期待したい。また中期計画は事業計画とともに職員全員が保有する保育園マニュアルに組み入れられたい。